



自分のことを伝える・相手のことを知る

キャンペーンの季節がやってきた！

春は新しい出会いがあり、環境の変化に対応していく時期。心地よい緊張感・ワクワク感を持って新年度を始めたいと考えています。子どもにとっても、教師にとっても、自分のことを伝える・相手のことを知るキャンペーンの季節です。

通級指導教室で学んでいる子どもたちは、自分なりの感じ方・自分なりの方法に意識を向けて言語化する力を伸ばしているのです。自分のことをどんどん発信してほしいと思っています。また、新しい先生・新しい友達のことを知っていきましょう！

○ 通級指導教室で

- ・ 新しい学年になってわくわくしていること、逆に不安なこと(一緒に考えます。)
- ・ がんばろうと考えていること
- ・ 最近の自分のことニュース など
他にも色々、自分のことを紹介するカードゲームも使ってたくさんお話をしましょう。

○ 新しい担任の先生に

- ・ 自分の得意なこと、自分が活躍できそうだと考えていること
- ・ ちょっと不安だなあと思っていること
- ・ もっとがんばりたい、できるようになりたいと思っていること
先生に自分のことを知ってもらっているということが、安心につながります。



おうちの方へのお願い

「体調によっては音に敏感になりやすい。」「急な予定の変更が苦手なタイプだ。」「言葉を省略せずに、具体的に説明してもらおうと安心できる。」「はじめから完璧でなくても大丈夫という確認があれば、安心して取り掛かれる。」といった内容を伝えることも大切です。このような内容については、個別の教育支援計画をもとに昨年度の担任の先生から引き継がれていますが、おうちの方からも改めて、新しい担任の先生に伝えていただけたらと思います。

特に高学年の児童には、野外活動・修学旅行が控えています。自分の知らない場所へ行くことは楽しみであると同時に不安もあることでしょう。「行ってみてのお楽しみ。」がよいタイプの人がいれば、「ぶっつけ本番では楽しめない。」タイプの人もあります。見学先のイメージは比較的持ちやすいかもしれませんが、宿泊する部屋・浴室の様子とその使い方・食事の内容(食堂の広さや様子、メニュー…)・バスの中での様子に至るまで、前もって知ることが必要な場合もあります。出かける前には不安に感じている様子がないので、本人も周囲も大丈夫だと思っていたところ、本人がその場に直面して初めて困り感が膨らむということが時にはあります。担任の先生との連携をお願いします。通級の担当者も、様々な場合を想定して事前準備に参加したいと考えています。

「個別の教育支援計画」について

現在の目当てや必要な支援は何かということ、学校・家庭・本人みんなで共通確認するツールが支援計画です。昨年度末、担任の先生と内容を確認されているとは思いますが、新年度にあたり見直しをお願いします。目当てや必要な支援は、本人の成長や周囲の環境等によって変わっていきます。新しい環境に慣れつつある時期だからこそ、本人自身のがんばりを期待したい内容、本人にとって必要な環境調整、有効な手立てなど、確認・再検討の上、支援計画の内容を更新していくことが大切です。

